

初任運転者教習記録簿

教習者氏名

1 構内訓練

基礎編

		合格印
1-1	出勤時ルーティーン(アルコール検査、免許証確認、業務内容確認)	
1-2	車両準備(ゴミ袋、傘袋、エチケット袋、DVD、氷BOX,コップ、おしぼり)	
1-3	車両点検(点検表に準じた点検、オイル補充、冷却水補充、車内の確認)	
1-4	点検表記入、出庫点呼	
1-5	入庫後の流れ(燃料の給油、アドブルー補充、洗車機、窓の拭き上げ)	
1-6	車内の後かたづけ、車内清掃	
1-7	入庫点呼、日報記入および提出、翌日の勤務確認	

日付								
印	印	印	印	印	印	印	印	印
日付								
印	印	印	印	印	印	印	印	印

初任運転者教習記録簿

教習者氏名 _____

2 構内訓練

運転編

		合格印
2-1	運転姿勢 (ハンドル位置、シート位置、ミラー調整、)	
2-2	発進および停止 (指差呼称、アクセル開度、クラッチの操作、ブレーキの加減)	
2-3	車両感覚の訓練 その1 (車両を前進させミラーを見てパイロンに後輪位置を合わせる)	
2-4	車両感覚の訓練 その2 (車両を前進させミラーを見てパイロンに車両後端を合わせる)	
2-5	車両感覚の訓練 その3 (フロント及びリヤオーバーハングの検証)	
2-6	取り回し訓練 その1 (パイロンで壁を作り壁面への幅寄せ。その後バックで直角に離れる)	
2-7	取り回し訓練 その2 (車庫内の駐車マスを使い前進と後退でそれぞれ横移動する)	
2-8	取り回し訓練 その3 (パイロンで四角型タコ壺を作り、前進右回り、左周り)	
2-9	取り回し訓練 その4 (パイロンで四角型タコ壺を作り、バックで右回り、左周り)	

日付								
印	印	印	印	印	印	印	印	印
日付								
印	印	印	印	印	印	印	印	印

初任運転者教習記録簿

教習者氏名 _____

3 市街地走行訓練

		合格印
3-1	発進と加速 (目標の速度までスムーズに加速できる)	
3-2	速度の安定 (速度を安定して持続させることができる)	
3-3	減速と停止 (目標の場所へスムーズに減速し停止できる)	
3-4	周囲の確認① (意識して周囲を確認し周りの交通状況の把握ができています)	
3-5	周囲の確認② (交通標識や標示、案内看板を見落としなく確認できる)	
3-6	ギアチェンジのタイミング (交通状況や道路の勾配に合わせて適切なタイミングでギアチェンジできる)	
3-7	進路変更 (周囲の確認、方向指示器と動作のタイミング、ハンドル操作、車両の間隔)	
3-8	交差点での右左折 (周囲の確認、方向指示器のタイミング、進入速度、ハンドル操作とタイミング)	
3-9	右左折時の判断 (歩行者の確認、対向車の有無把握しタイミングよく右左折できる)	

モデルコース

- ①知多半島方面（東海営業所、太田川駅、朝倉駅、常滑駅、師崎港）
- ②三菱飛島便ルート、三菱小牧便ルート

日付								
印	印	印	印	印	印	印	印	印
日付								
印	印	印	印	印	印	印	印	印

初任運転者教習記録簿

教習者氏名 _____

4 課題走行訓練

		合格印
4-1	自社ツアーの大同町ルート (ルートの指定あり)	
4-2	自社ツアーの西春ルート (ルートの指定あり)	
4-3	自社ツアーの大曽根ルート (ルートの指定あり)	
4-4	名古屋市内ルート① (自主作成ルート)	
4-5	名古屋市内ルート② (自主作成ルート)	
4-6	県内ルート① (自主作成ルート)	
4-7	県内ルート② (自主作成ルート)	
4-8	ルートを間違えた時に適切な方法で元のルートに復帰する	

注意① ルート指定ありの場合は教官にルートを指示してもらい、線地図を書く。

注意② 自主作成ルートは、教官に目標の場所と向きを指示してもらい、自分でルートを考えて線地図を書く。

注意③ 運転中は線地図を見るのはOK。本の地図を見たり教官に聞くのはNG。ナビゲーションシステムや地図アプリもNG。

日付								
印	印	印	印	印	印	印	印	印
日付								
印	印	印	印	印	印	印	印	印

初任運転者教習記録簿

教習者氏名 _____

5 高速道路走行訓練

		合格印
5-1	走行経路の確認 (自分が使うインター、利用道路、休憩地を把握できている)	
5-2	インターチェンジ流入 (ETCゲート通過、本線への加速合流が安全にできる)	
5-3	本線の走行① (時速80KMを維持して一定の速度で走行できる)	
5-4	サービスエリア、パーキングエリア① (減速して進入、安全速度での走行、適切な位置へ駐車)	
5-5	サービスエリア、パーキングエリア② (交通整理と乗客の誘導、他号車誘導の方法)	
5-6	本線の走行② (時速90KMを維持して定速走行。追い越しの速度、合図のタイミング)	
5-7	インターチェンジ流出 (安全な減速、ETCゲート通過)	

注意① 定速走行時は車間距離を開けなるべくアクセルだけで速度調整をする。

注意② 減速時はアクセル→排気ブレーキまたはリターダ→フットブレーキの順に
使って減速する。

高速道路回送利用の判断ポイント

(回送の距離、配車時間、拘束時間、当日の退勤予測時間と翌日の出勤時間を考慮し判断する。迷った時は先輩に聞く)

日付								
印	印	印	印	印	印	印	印	印
日付								
印	印	印	印	印	印	印	印	印

初任運転者教習記録簿

教習者氏名 _____

6 山岳路走行訓練

		合格印
6-1	運行経路の確認 (通行不可能路に誤進入しないよう注意する)	
6-2	上り勾配① (勾配に合った適切な速度、ギア、エンジン回転数で走行できる)	
6-3	上り勾配② (上りカーブではフットブレーキを踏まずエンジンブレーキと補助ブレーキを使用して安全な速度で走行できる)	
6-4	下り勾配① (勾配に合った適切な速度、ギア、エンジン回転数で走行できる)	
6-5	下り勾配② (下りカーブでエンジンブレーキ、補助ブレーキ、フットブレーキを使用し安全な速度で走行できる。)	
6-6	カーブの走行① (カーブの手前で十分減速し、安全速度で走行できる)	
6-7	カーブの走行② (カーブミラーを確認し、対向車に注意して走行できる)	
6-8	カーブの走行③ (カーブの曲率に合ったハンドル蛇角で安定して走行できる)	

注意① 上り坂では水温計を確認し、オーバーヒートに注意する。

注意② 下り坂では速度の上がりすぎに十分注意する。

注意③ 下り坂では極力フットブレーキの使用を控え、フェード現象とブレーキの焼き付きに注意する。

日付								
印	印	印	印	印	印	印	印	印
日付								
印	印	印	印	印	印	印	印	印